

# 能登地域における 地域課題と若者のマッチングによる 中間支援活動について

平成27年2月23日

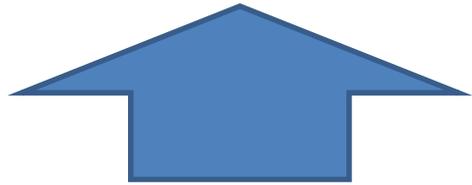
七尾留学推進協議会

# 1. 事業実施地域の課題・事業の背景

世界農業遺産

能登の里山里海

担い手の確保



能登留学による

インターン生と共に

課題解決のプロジェクト



# 1. 事業実施地域の課題・事業の背景

## ◆ 取組1: 羽咋郡志賀町

志賀町は、人口22,000人の小さな町だが、石川県で唯一の原発があるまちである。

原発があるということは、財政的には豊かなまち。しかし、かえってなにもかも行政に頼りがちになってきた。そのため、地域のことを自分たちでやっていく機運の醸成と魅力の発見が重要な課題と言える。

## ◆ 取組2: 七尾市中島町鉤打地区

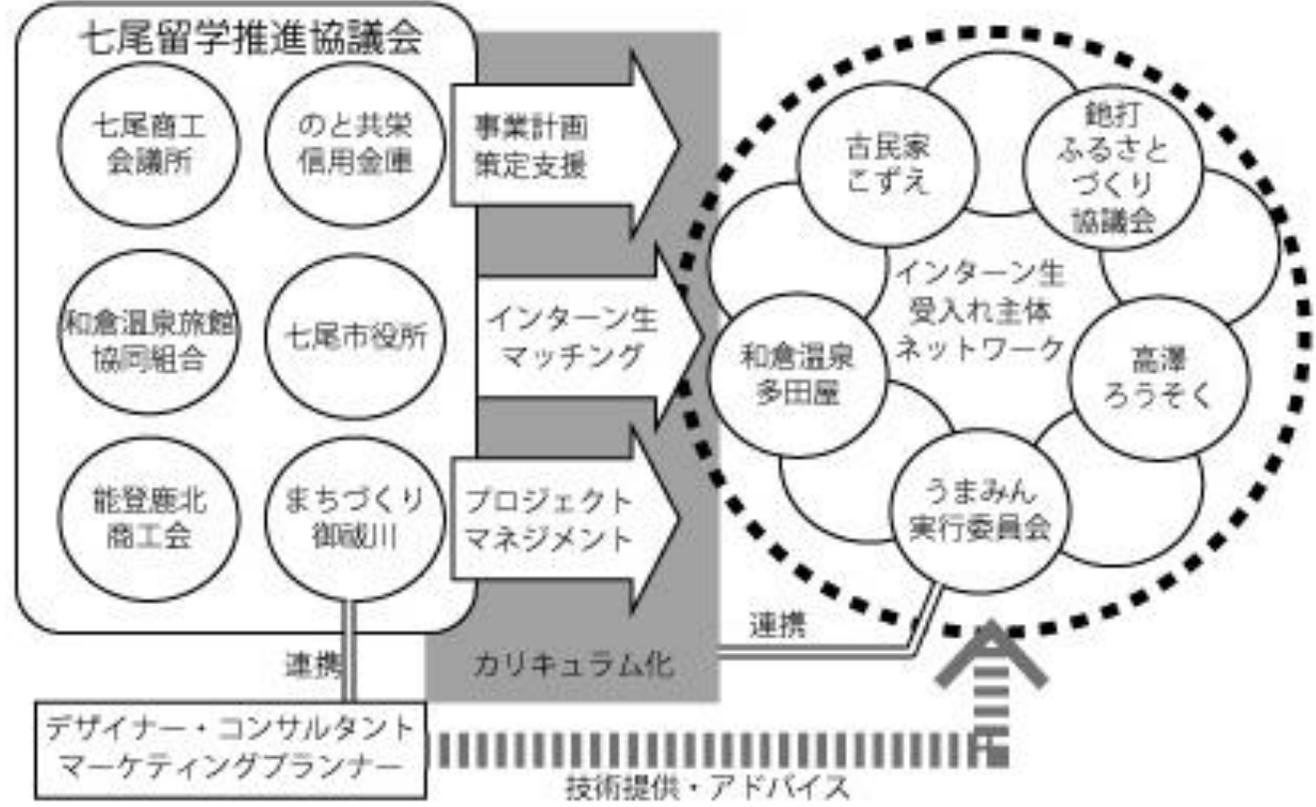
鉤打（なたうち）地区は、七尾市の北部10集落から成る中山間地域である。地区の人口は約980人、高齢化率は約40%、ここ30年間で人口は600人減少し、深刻な担い手不足である。

地区内には豊富な地域資源があるが、魅力ある体験プログラムの開発とこれらをガイドする人財が限られているという現状がある。



# 2. 地域づくり活動支援体制の構成

構成主体	役割(中間支援の内容)
のと共栄信用金庫	専門家紹介、プロジェクトブラッシュアップ(資金・事業計画)
七尾市役所	専門家紹介、プロジェクトブラッシュアップ(全体)
七尾商工会議所・鹿北商工会	専門家紹介、プロジェクトブラッシュアップ(連携面)
和倉温泉旅館協同組合	専門家紹介、プロジェクトブラッシュアップ(宿泊面)
株式会社御祓川	インターン生募集、マッチング、インターン生サポート



### 3. 担い手の概要

#### ◆ 取組1: 古民家こずえ

農家民宿「古民家こずえ」は、志賀町町居地区にある梢家をリノベーションし、平成25年度にオープンした農家民宿である。来客数は、まだまだ少ないため、集落内での認知のされ方も限定的である。

地域づくりのために「農家民宿」を始めたことへの理解がされていないため、まずは、地元の人達と一緒に地域を盛り上げていく協力体制を築くことが課題である。

#### ◆ 取組2: 鉤打ふるさとづくり協議会

鉤打ふるさとづくり協議会は、平成20年度より、「一声、一汗、みんなで築こう、豊かなふるさと・なたうち」をスローガンに、農業を始めとする地域の課題を検証し、自律的な地域づくりに取り組んできた。

地区内に農産加工グループが2団体、地区内唯一の直売所「藤瀬霊水公園」がある。また、NPO法人なたうち福祉会では、小規模多機能型介護施設を運営しており、これら各種団体の連合体が「鉤打ふるさとづくり協議会」である。



# 4. 事業概要

## 【七尾留学推進協議会】

七尾商工会議所

御祓川

七尾市役所

のと共栄信用金庫

和倉温泉旅館協同組合

①

農家民宿での  
着地型旅行商品  
開発支援

農家民宿 古民家こずえ

- (1) 着地型旅行商品の開発
- (2) インターンシップ
- (3) プロジェクトマネジメント

②

鉦打地区の  
里山体験メニュー  
開発支援

鉦打ふるさとづくり協議会

- (1) 里山体験メニューの開発
- (2) インターンシップ
- (3) プロジェクトマネジメント

③ 「まちづくり大学」によるプラン実行支援

- (1) 受入プロセスのカリキュラム化
- (2) プランニング講座
- (3) 実践の場の提供

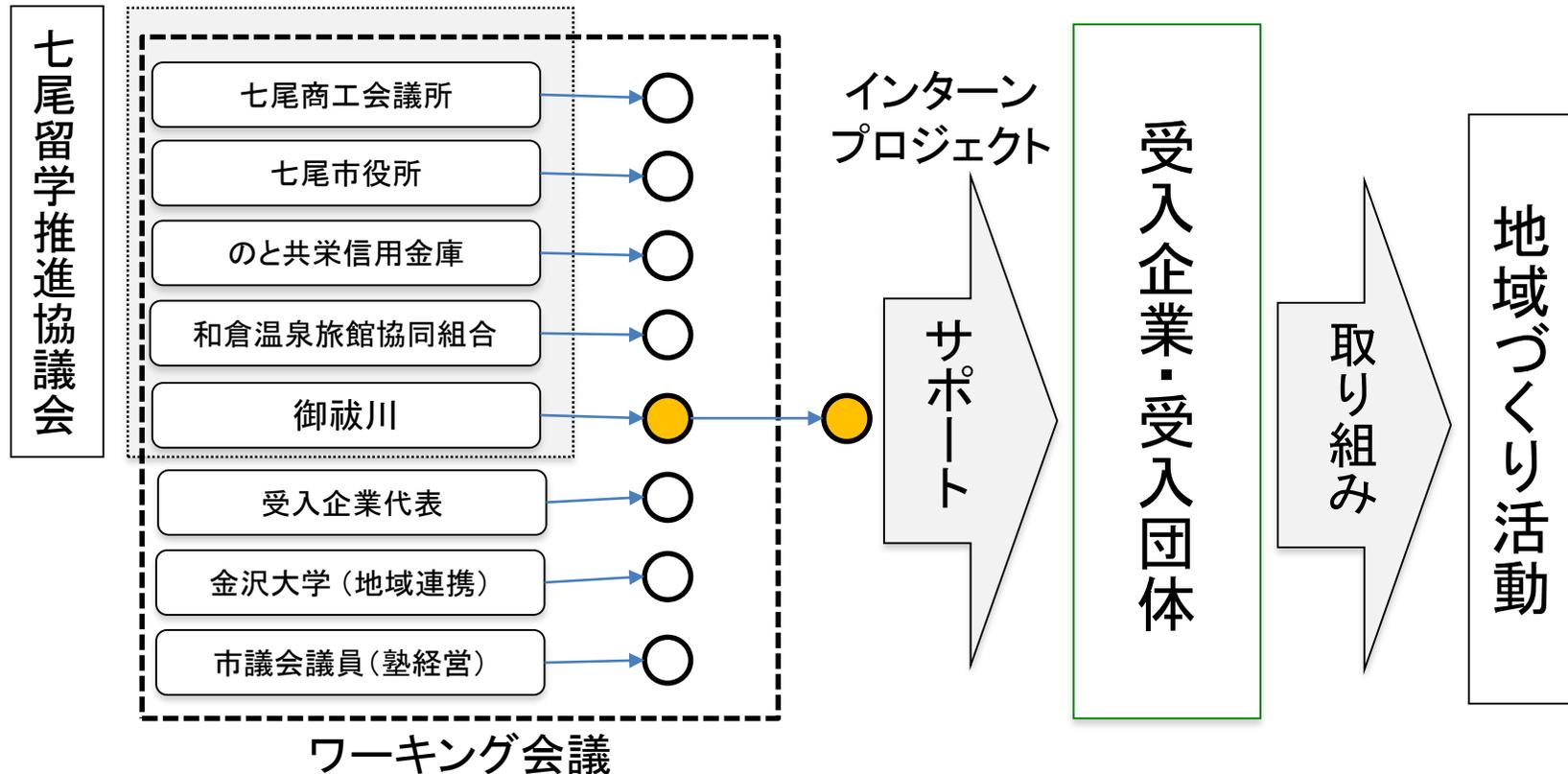
講座

- (1) 将来の受入候補企業
- (2) まちづくりの取組に関心のある事業者

# 4. 事業概要

## 中間支援の方法

今回の事業の中間支援方法は、インターンシッププログラムの提供である。効果的なインターンをするため、協議会の中にワーキング会議を設置し、進捗管理を行うとともにインターンコーディネート機関である株式会社御祓川が担い手に対して実施する支援の内容について協議した。

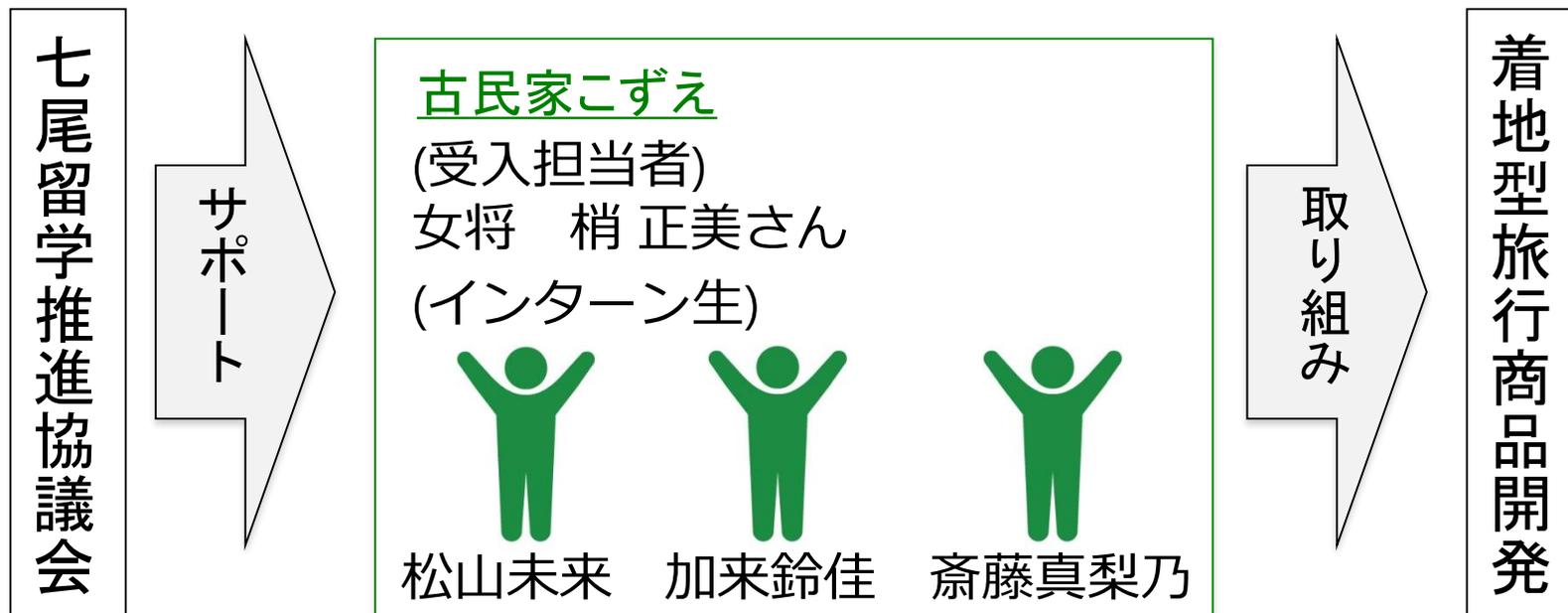


## 5. 各取組の内容

### ①取組1：農家民宿での着地型旅行商品開発支援

農家民宿「古民家こずえ」は、志賀町の中でも過疎化の激しい町居地区にある、梢家(古民家)をリノベーションした農家民宿である。

今回、インターン生と共に「古民家こずえ」の主力商品として、他の宿泊施設には真似のできない里山体験のメニューで、着地型旅行商品を開発し、「うまみん」やウェブなどを通じて発信した。



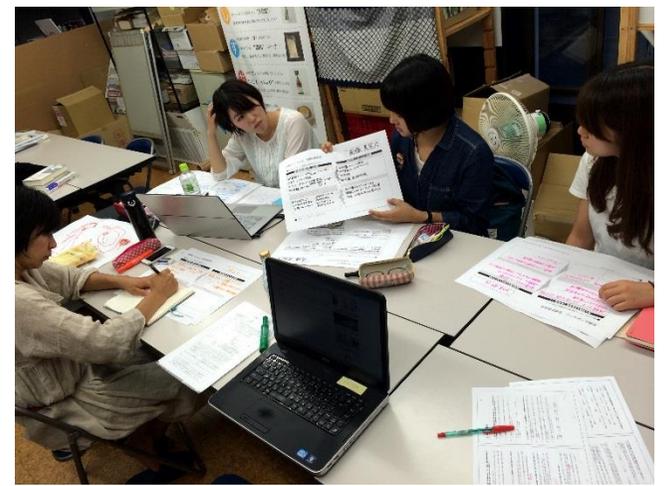
## 5. 各取組の内容

### ①取組1：農家民宿での着地型旅行商品開発支援

#### ◆ 構成主体・役割(中間支援の内容)

担い手の活動	中間支援の内容・構成主体	
着地型旅行商品開発	のと共栄信用金庫	専門家紹介、プロジェクトブラッシュアップ(資金面)
	七尾市役所	専門家紹介、プロジェクトブラッシュアップ(全体)
	七尾商工会議所	専門家紹介、プロジェクトブラッシュアップ(連携面)
	和倉温泉旅館協同組合	専門家紹介、プロジェクトブラッシュアップ(旅行面)
	株式会社御祓川	インターン生募集、マッチング、インターン生サポート

日程	主な取り組み	支援内容
7月4日～	プロジェクト設計、受入準備	インターン生の募集
8月4日	プロジェクトキックオフ	目標設定サポート
8月23日	合同メンタリング	進捗確認、インターン生交流
8月29-31日	着地型旅行商品 実施	旅行商品設計サポート、集客等
9月2日	合同中間セッション	進捗確認、軌道修正サポート
9月10日	町居 地域報告会	プレゼン資料サポート、集客等
9月22日	最終セッション	目標達成度確認、引き継ぎ等確認
10月3-5日	着地型旅行商品 実施	旅行商品設計サポート、集客、講師派遣



協議会では、キックオフ→中間セッション→最終セッションで、プロジェクトの目標を確認しながら進捗をサポート

この夏、古民家こずえでインターンした3名の女子大生約2ヶ月にわたり集落内を駆けまわった

左から  
加来 鈴佳（兵庫県立大2年）  
松山 未来（武蔵大学3年）  
斎藤 真梨乃（金沢大学3年）

## 着地型旅行商品実施 1 回目 (8/29~31)



集落の歴史を聞く



祭りヨバレ体験



BBQ (1日目)



里山御膳 (2日目)

## 着地型旅行商品実施 2 回目 (10/3~5)



講師のアドバイスを受け、ブラッシュアップ



能登牛ランチ (1日目)



農家レストラン (2日目)



石川地域づくり塾と合流

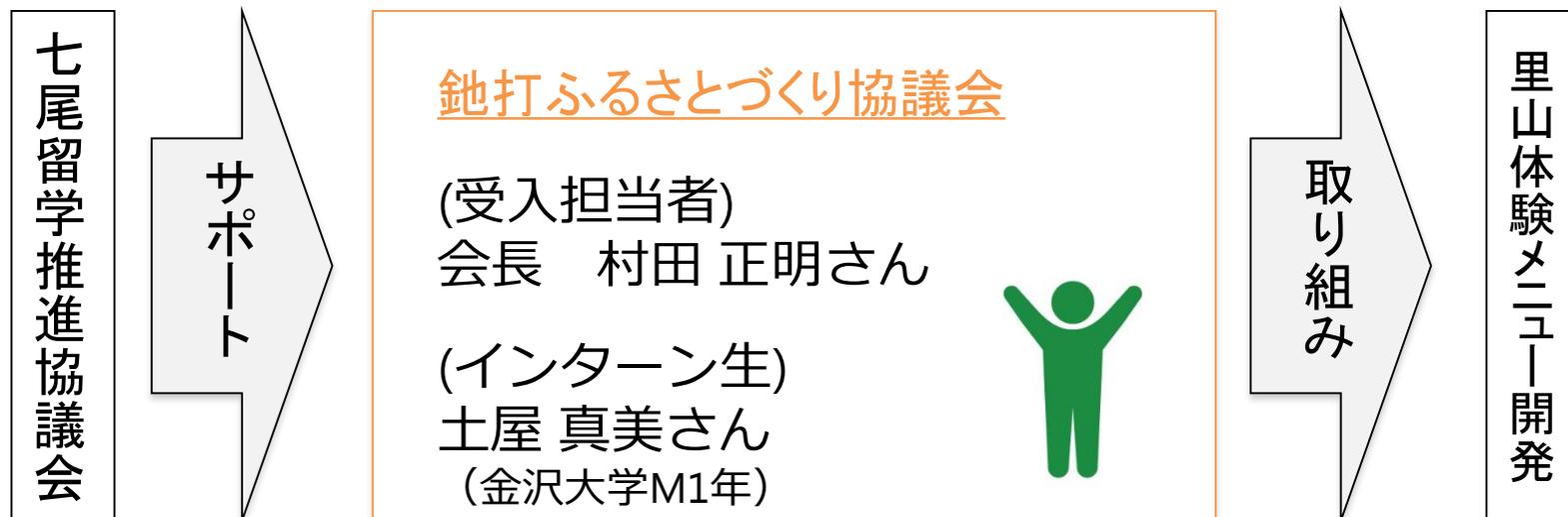


## 5. 各取組の内容

### ②取組2：鉦打地区の里山体験メニュー開発支援

鉦打ふるさとづくり協議会は、平成20年度より、「一声、一汗、みんなで築こう、豊かなふるさと・なたうち」をスローガンに、農業を始めとする地域の課題を検証し、自律的な地域づくりに取り組んできた。

地区内に農産加工グループが2団体あり年間300万円の売上、地区内唯一の直売所「藤瀬霊水公園」は600万円の売上だが、年々減少傾向にある。年間1,000俵直販している棚田「鉦打米」で地域内の所得の向上を図りたい。今年度、なたうち地区の5カ年計画を改訂する年にあたり、インターン生と共に地区内の住民（特に女性）の意見を取りまとめる調査を行った。その中から、課題解決に向けた方策と里山体験メニューの開発を実施した。



# 5. 各取組の内容

## ②取組2：鉦打地区の里山体験メニュー開発支援

### ◆ 構成主体・役割(中間支援の内容)

担い手の活動	中間支援の内容・構成主体	
里山体験メニュー開発	のと共栄信用金庫	専門家紹介、プロジェクトブラッシュアップ(資金面)
	七尾市役所	専門家紹介、プロジェクトブラッシュアップ(全体)
	七尾商工会議所	専門家紹介、プロジェクトブラッシュアップ(連携面)
	和倉温泉旅館協同組合	専門家紹介、プロジェクトブラッシュアップ(宿泊面)
	株式会社御祓川	インターン生募集、マッチング、インターン生サポート

日程	主な取り組み	支援内容
7月4日～	プロジェクト設計、受入準備	インターン生の募集
8月18日	プロジェクトキックオフ	目標設定サポート
9月20日	集落報告会	講師派遣、会場整備など
9月22日	鉦打の稲刈り はざ干し体験	プログラム設計サポート、集客
9月24日	中間セッション	進捗確認、軌道修正サポート
10月29日	中間セッション	進捗確認、軌道修正サポート
11月18日	最終セッション	目標達成度確認、引き継ぎ等確認



キックオフ→中間セッションで  
インターン生の目標設定と修正



稲刈り・はざ干し体験を実施

2014.9.13-11.3  
http://www.umamin.net

いしへの地産地消旅行

8月25日 発行開始!

能登國の大地に結ばれて

皆さんいっしょにやっていますか？  
体力の限界に挑戦したいとか、自然の中で思いっきり〜と帰っている方、チェックしてね!!  
室内で代購アップ!の優しいプログラムも見送でません♥

21 大地の恵みに感謝する  
21日  
はざ干し体験  
(仲旗祭りオプション付)

稲山の秋は、恵みの時。能登地区で作られる米は、知る人ぞ知る旨さ!その秘密は、上流部のきれいな水とはざ干しでじっくり乾燥させるから。稲山の収穫の喜びを一緒に汗を流して味わいませんか?ご希望の方は、そのまま集落内でお泊りいただき、翌日の仲旗祭りに続から参加できます。

◎オプションプログラム  
特旗祭り体験  
9月23日火曜 6:00~16:00  
参加費+1,000円で宿泊可

お問い合わせ  
0767-54-8866

新規会員登録

体験しよう!日本サイトに登録します

ログイン

ユーザIDまたはe-mail  
パスワード  
パスワード  
ログイン

プログラム検索

プログラム名を抽出検索  
検索

参加日のプログラムを探す  
2015年  
検索

開催期間から探す  
2015年  
検索

エリアで探す

21.能登の稲刈り はざ干し体験 (仲旗祭りのオプション付)  
七尾市 | 能登國の大地に結ばれて

稲山の秋は、恵みの時。能登地区で作られる米は、知る人ぞ知る旨さ!その秘密は、上流部のきれいな水とはざ干しでじっくり乾燥させるから。稲山の収穫の喜びを一緒に汗を流して味わいませんか?ご希望の方は、そのまま集落内でお泊りいただき、翌日の仲旗祭りに続から参加できます。

◎オプションプログラム  
特旗祭り体験  
9月23日火曜 6:00~16:00  
参加費+1,000円で宿泊可

プログラムの概要

開催日	2014/09/22(月)
開催時間	13:00~16:00
開催場所	上島集会所 石川県七尾市中長町上島 0000000000
参加料金	1,000円
定員	20名
現席	17名
予約方法	電話、WEB予約

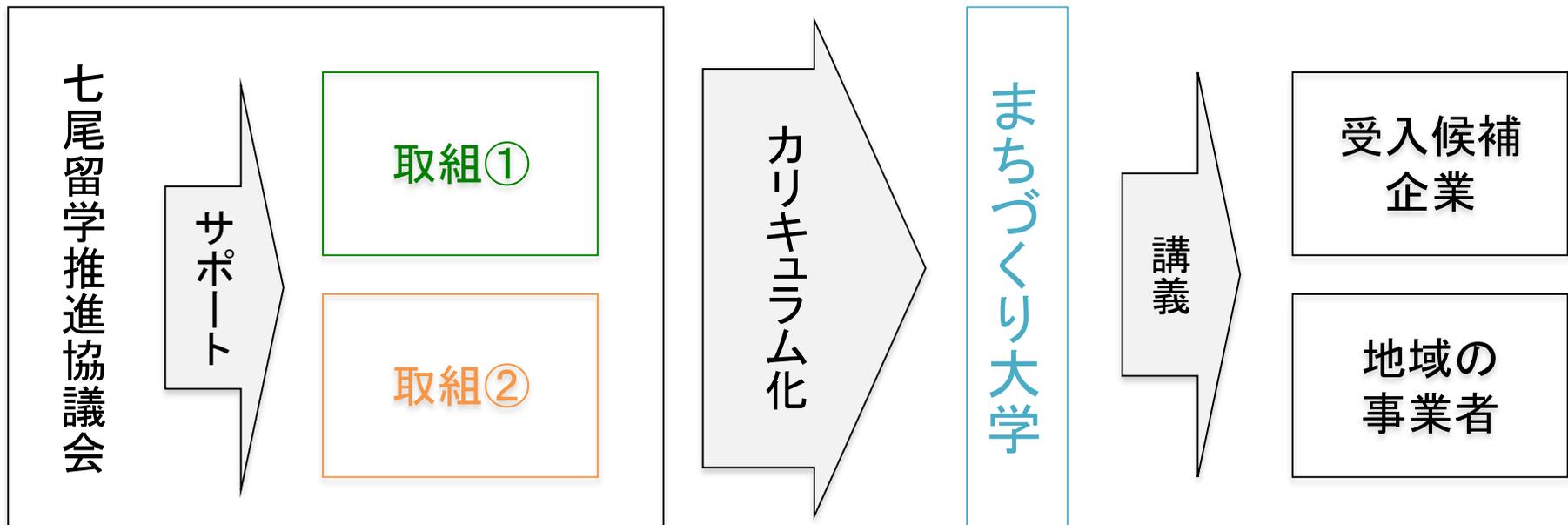
「うまみん」に掲載しWebでも集客を図った

## 5. 各取組の内容

### ③取組3：まちづくり大学によるプラン実行支援

地域の資源を活かした新商品の開発や地域課題を解決しようとする主体に対して、そのプロジェクトの担い手となるインターン生を、「能登留学」または「能登輪堀」でマッチングする。

さらに、その一連のチャレンジを伴走しながら支援する流れを「まちづくり楽交」として“カリキュラム化”することで、能登を留学先として、地域づくりを実践的に学ぶ若者を集めると共に、地域課題に取り組む事業者も受講生として、自らの地域づくり活動を実行し、イノベーションを加速させるサイクルを創る。



## 5. 各取組の内容

### ③取組3：まちづくり大学によるプラン実行支援

#### ◆ 構成主体・役割(中間支援の内容)

担い手の活動	中間支援の内容・構成主体	
企業課題解決 地域課題解決	のと共栄信用金庫	事業計画作成支援、取引企業への紹介
	七尾市役所	各種制度紹介、産業政策課を通じた企業への紹介
	七尾商工会議所	各種制度紹介、創業支援カルテットとの情報交流
	和倉温泉旅館協同組合	組合旅館への制度紹介
	株式会社御祓川	プロジェクト設計サポート、実施サポート

日程	主な取り組み	支援内容
11月4日	うまみん大学開講	プランニングサポート
12月10日	受入企業勉強会	ふりかえり・プロジェクトブラッシュアップ
1月10日	まちづくりシンポジウム	発表の場づくり・プレゼンブラッシュアップ
1月12日	まちづくり楽交お披露目会	同上
1月～2月	パートナーによる各種講座	実践の場提供
2月12日	能登留学フォーラム	発表の場づくり・関係者合意形成

# 5. 各取組の内容

## ③取組3：まちづくり大学によるプラン実行支援

### ◆ 構成主体・役割(中間支援の内容)

担い手の活動	中間支援の内容・構成主体	
企業課題解決 地域課題解決	のと共栄信用金庫	事業計画作成支援、取引企業への紹介
	七尾市役所	各種制度紹介、産業政策課を通じた企業への紹介
	七尾商工会議所	各種制度紹介、創業支援カルテットとの情報交流
	和倉温泉旅館協同組合	組合旅館への制度紹介
	株式会社御祓川	プロジェクト設計サポート、実施サポート

能登留学  
受け入れコース



受入企業勉強会



インターン受入支援



成果共有



ふりかえり

うまみん  
パートナーコース



パートナー研修



ガイドブック作成支援



プログラム実施



ふりかえり

## 6. 各取組の成果と課題

### ①取組1：農家民宿での着地型旅行商品開発支援

◎古民家こずえの成果と課題：集落内での認知度UP！

- ・体験メニューのアイデア22件→うち12件をインターン生が実際に体験
- ・体験メニューを組み合わせた「能登の花嫁修業プラン」を旅行商品として提案
- ・2回の着地型旅行商品実施を通して、**顧客ターゲットの明確化**  
(前) 家族連れ旅行→(後) 地域課題の解決に関わりたい若者
- ・広報媒体としてポストカードを作成 (インターン生のイラストを採用)
- ・集落内での認知度UP→地域内でのインターン生受け入れに意欲的に



古民家こずえ初の広報媒体もインターン生が企画 (HPイラスト作成)



最終報告会には、集落の人ほぼ全員 (50名以上)が詰めかけた

## 6. 各取組の成果と課題

### ①取組1：農家民宿での着地型旅行商品開発支援

#### ◎活動の社会的意義・社会的成果

- ・地域内に「よそわか者」が滞在することによる効果：集落内の活気
- ・祭りの復活：周辺の集落にも波及・学生による祭りの存続
- ・まちづくり倶楽部の発足：インターン生を媒体として地域内のキーマンが集結

#### ◎地域ビジネスの達成状況・今後の見通し

- ・ビジネスモデルの変更：地域×若者コーディネーター（志賀地域）
  - 志賀町内の地域課題と若者をつなぐ様々なプロジェクトを展開することによって、古民家こずえの利用促進につながる。
  - お客様として訪れる人より、共に地域課題に取り組む担い手としての「よそ者」に来てほしい。宿泊施設としての自立に拘らない。
  - 本来、古民家こずえを起業したのは、将来空き家になる実家を利活用したかったから→集落内に多数ある空き家の現況調査を次期インターン生と実施したい。



- ・次年度、新規インターンプロジェクトのコーディネーター補佐

## 6. 各取組の成果と課題

### ①取組1：農家民宿での着地型旅行商品開発支援

#### ◎成果目標と達成状況

成果目標	現状(年度当初)	目標	達成状況
ウェブ上でのヒット	4件	12件	12件
体験メニュー	-	4件	22件→実施12件
年間宿泊者数	10人	100人	延べ30人

#### ◎その他の成果

- ・ 集落の資源リスト192→ウェブサイトの素材に
- ・ インターン生の描いたイラスト21点  
→ウェブサイト・MAPに
- ・ おさんぽMAPの完成
- ・ ウェブサイトの完成  
<http://dream-concierge.com/kozue/>
- ・ 集落報告会への参加者52名
- ・ 志賀町地区としてプロジェクトに関わる宿泊  
約150人・泊



## 6. 各取組の成果と課題

### ②取組2：鉦打地区の里山体験メニュー開発支援

◎鉦打の成果と課題：自主的な計画づくりが始動、体験メニューの通年化へ

- ・鉦打地区の「売り」が典型的な「里山の暮らし」であることが認識された。
- ・インターン生の調査により、鉦打の女性たちの意見がとりまとめられ、地域の若者を巻き込んだ次期5カ年計画づくりが始まった。
- ・うまみんで、里山体験メニューを広報したことにより、従来の直接勧誘ではないWeb経由の新規顧客が3件増えた。
- ・集落内の空き家活用策として、microstayとの連携可能性が生まれた。
- ・冬季の「味噌づくり体験」など、従来の稲刈り体験以外の里山体験メニューが女性たちの手で実施された。
- ・集落内の農業生産を維持するため、「農事組合法人なたうち」が設立された。



インターン生の調査結果から集落の計画づくりが始動



地域の女性たちによる味噌づくり体験

## 6. 各取組の成果と課題

### ②取組2：鉦打地区の里山体験メニュー開発支援

#### ◎活動の社会的意義・社会的成果

- ・「よそわか者」が集落に与えた影響：女性の意見が聞かれ自主的な活動へ
- ・地域内の自律性向上：住民たち（特に若い世代）が将来計画づくりに参画  
鉦打地区内ですでに農業で生計をたてている人たちが主体的に参画
- ・周辺地域への影響：鉦打にインターン生が入りプロジェクトを推進していることで、他の中山間地からの問い合わせ

#### ◎地域ビジネスの達成状況・今後の見通し

- ・農水省の事業を活用して、人材育成＋仕事づくり
  - － 農事組合法人なたうちが設立されたことで、より具体的に地区内での仕事づくりが可能となった。H27年度は農水省の事業を活用して、新規人材を雇用する。
  - － 3カ年の雇用期間で里山の資源を活かした新たな仕事づくりを実施する。
- ・次年度は、インターン生ではなく、新規雇用者のプロジェクトサポートを実施

#### ◎成果目標と達成状況

成果目標	現状(年度当初)	目標	達成状況
ウェブ経由での体験申込	0件	10件	3件
ウェブ経由での商品販売	0アイテム	2アイテム	2アイテム
体験ツアー参加者	年間40人	年間100人	50人(9~2月)

## 6. 各取組の成果と課題

### ③取組3：まちづくり大学によるプラン実行支援

#### ◎まちづくり大学改め「まちづくり楽交」の拠点づくりがスタート

- ・ 受入企業勉強会において、能登留学の受け入れプロセスをカリキュラム化し、プロジェクトの質の向上と受け入れ側の意識改革・組織改革に取り組むという方向性が共有された。
- ・ 能登留学の受入プロセスだけでなく、地域内で新しい取り組みを行う担い手への各種支援メニューを「まちづくり楽交」として提供することが「まちづくりシンポジウム」で共有された。

#### ◎活動の社会的意義・社会的成果

- ・ 上記の取り組み自体にインターン生が関わることによって、講座受講生のみならず、地域の多様な主体が参画する体制を構築することができた。

#### ◎地域ビジネスの達成状況・今後の見通し

##### ・ ビジネスモデルの構築が課題

- まちづくり楽交の必要性は共有されたが、コミュニティスペースの運営・拠点の維持に向けたビジネスモデルを構築することが課題として残された。
- 引き続き、インターン生を受け入れて、この課題解決に向けた取り組みを継続していく。

## 7. 中間支援における課題と対応

### 課題

### 対応策

#### 取組 ①

志賀地域と若者を結びつけるコーディネーターとして農家民宿こずえを拠点とした新たな取り組みが必要である。

今春、志賀地域の空き家調査プロジェクトでインターン生を募集し、梢さんをコーディネーター補として育成する。

#### 取組 ②

体験メニューのほか鉈打の資源を活かした地区内での仕事づくりを加速させる必要がある。

農水省の事業を活用して、新たな人を雇用し、受入担当者の後継者として育てる。

#### 取組 ③

まちづくり楽交のプログラムを集約できる拠点が必要である。

商店街の空き店舗を活用して、コミュニティスペースを創出する。

## 7. 中間支援における課題と対応

### ◎中間支援において特に工夫した点

- ・ 支援対象の「**想い**」を重視し、**ステージに合わせる**
  - 主体性を持って実施できる事業計画になることを重視
  - 想いを形にするために「プランニング講座」への参加を呼びかけ
- ・ 支援対象の**ステークホルダーの巻き込み**
  - 集落内の関係者をつなぐ現地コーディネーターの必要性
  - マスコミの活用→地元での認知
- ・ 取り組み間の連携・各種メニューの活用
  - インターン受入サポート以外のメニューも組み合わせて支援
  - 手段にこだわらず、目的に沿った支援メニューの提案

### ◎中間支援にあたり苦勞した点、うまくいかなかった点

- ・ インターン生の**モチベーションコントロール**
  - 集落に入り込むインターンは、1人で通うと孤独になり、モチベーションダウンにつながった。
  - 集落調査以上の成果を求めたが、新たな里山体験メニューをインターン生が主体的に開発するには至らなかった。

# 7. 中間支援における課題と対応

## ◎新たに得られたノウハウ・スキル・教訓

### ・集落受入インターンはチームで

- 集落でのインターンは、チームで送り込む方が成果が上がりやすい。
- チーム内のキャラクターバランスも重要。

### ・中間メンタリングを合同で

- 複数のプロジェクトが合同で中間メンタリングを行うことで、インターン生同士の交流や刺激につながり、良い効果を生むことが確認できた。
- 合同セッションを実施する日時を予め設定してからインターンをスタートすることで、次期は受入担当者も合同で研修を行うカリキュラムを組む。

### ・セッションシートやエントリーシートの改訂

- より効果的なセッションを行うために、セッションシートを改善。
- 面談時に必要となる情報を整理し、エントリーシートの項目を整理。

### ・コーディネーター人材のプラットフォームの必要性

- 企業、地域（NPO等）、大学、行政など異なるセクターに属するコーディネーター人材が、ふだんから情報を交換するためのプラットフォームが重要出ることが指摘された。→七尾留学推進協議会の役割

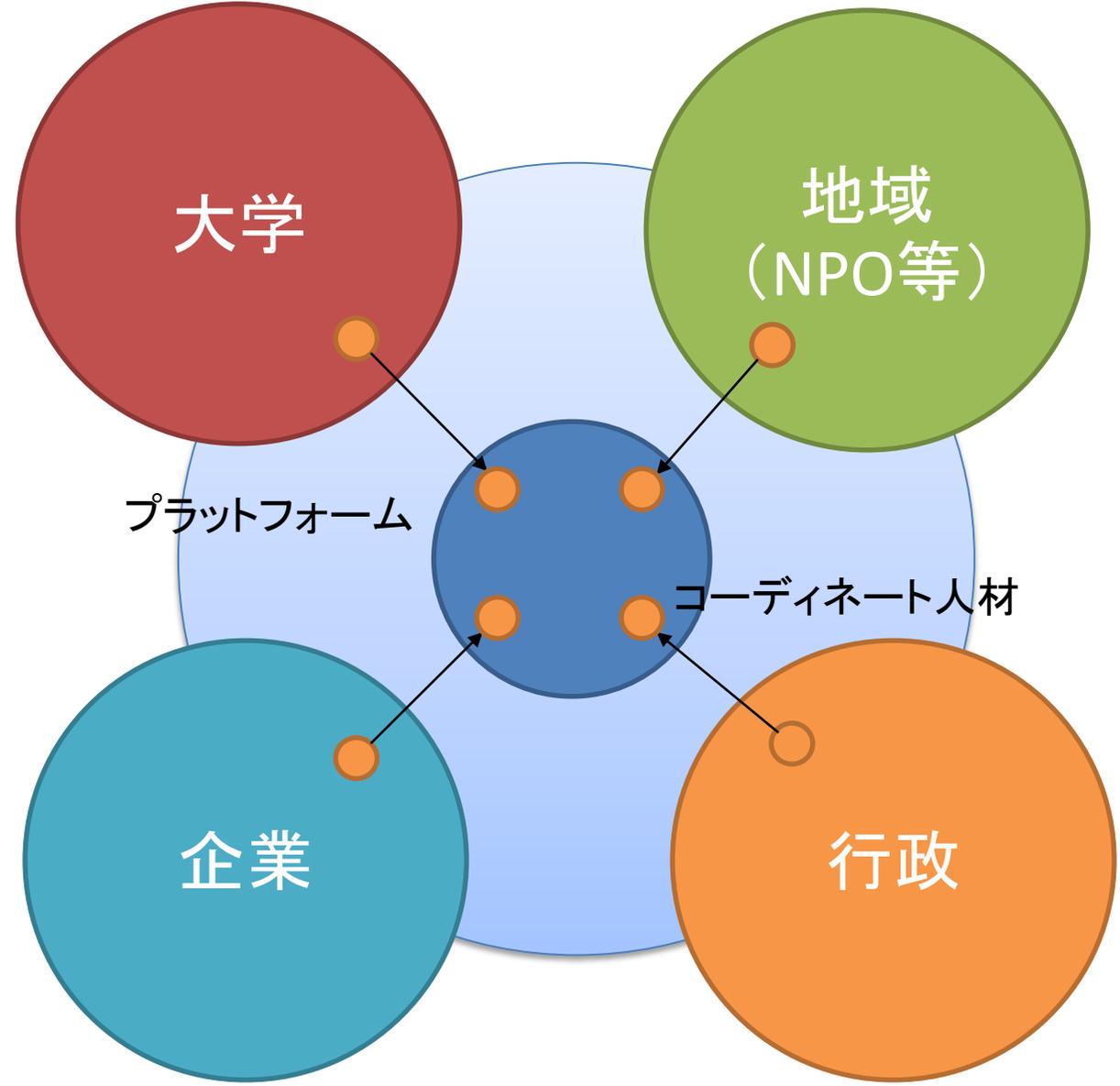
## 7. 中間支援における課題と対応

### ◎体制として連携することにより達成できたこと

- ・ 七尾市創業支援カルテットとの情報交流
  - 既存企業の経営革新には本協議会、新規起業には創業支援カルテットという役割分担ができた。
  - 創業支援に関する情報を得ながら、支援対象のプロジェクトを進めることができた。（実際の活用には至っていないが）
- ・ 七尾市移住定住連絡促進協議会との連携の必要性
  - インターンの受入が移住定住にも効果があることが認識され、七尾市を通じて、求人募集とインターン生募集を連携して行う可能性ができた。
  - 能登留学の紹介チラシ→成人式の案内に同封（Uターン促進）
- ・ 地域づくりにインターン生を活かす **制度設計の必要性**
  - 能登留学フォーラムでインターン生とプロジェクトを進める意義が関係者に共有された。
  - 集落の協議会など、マッチング会費を負担できない主体がインターン生を受け入れる際に税金を投入するための成果指標のあり方、中間支援組織の必要性などが明らかとなった。

# 8. 事業終了後の予定

七尾留学推進協議会の位置づけ＝産学官民のコーディネータープラットフォーム



# 8. 事業終了後の予定

	4-5月	6-7月	8-9月	10-11月	12-1月
まちづくり楽交の運営による中間支援活動 能登留学	◎5/29春スタート 合同中間セッション		インターン生募集 マッチング	インターン受入サポート	
まちづくり楽交の運営による中間支援活動 うまみん	パートナー募集	企画作成 プランニング講座	ガイドブック作成	うまみん開催 集客	ふりかえり
能登輪堀 (ワーホリ) 移住体験ツアーの受け入れ	移住体験ツアー企画支援・集客・運営支援				
	● 5/2-3 門前地区		● 8月中旬 志賀町	● 9/22-23 鉦打地区	
クラウドファンディングによる資金調達支援活動	プロジェクト発掘		● 資金調達セミナー 募集支援	プロジェクト発掘	募集支援 ● 資金調達セミナー

# 8. 事業終了後の予定

	平成27年度	平成28年度	平成29年度以降
まちづくり楽交の運営による中間支援活動 <b>能登留学</b>	地域受入型インターンの制度設計(調査)	制度づくり (モデル事業)	本格実施
まちづくり楽交の運営による中間支援活動 <b>うまみん</b>	まちづくり楽交でのパートナー育成	事務局のNPO化	新体制によるうまみん実施
<b>能登輪堀(ワーホリ)</b> 移住体験ツアーの受入れ	旅行会社の立ち上げ ツアー商品開発 販売プラットフォームづくり	移住体験ツアーの 販売強化	移住体験ツアーを通じた移住者
クラウドファンディングによる資金調達支援活動	資金調達勉強会	資金調達プロジェクト支援	資金調達プロジェクト支援